

【電子版】



2026年 第1号 2026年1月22日

発行：自交総連本部

〒110-0003 東京都台東区根岸2-18-2-201

tel. 03-3875-8071

fax. 03-3874-4997

メール info@jikosoren.jp

ホームページ→



結果を職場要求に活用しよう

2026春闘アンケート 低賃金・長時間労働に不満の声

図1 回収率、平均勤続・経験・年齢

年	回収 地方	回収 枚数	回収率	平均勤続 (年)	平均経験 (年)	平均年齢 (歳)
2023年	14	2,825	46.7%	11.8	14.7	58.1
2024年	13	2,531	49.0%	11.3	14.1	57.8
2025年	15	2,643	53.8%	11.1	13.5	57.5

図2 職種別の勤続・経験・年齢の推移

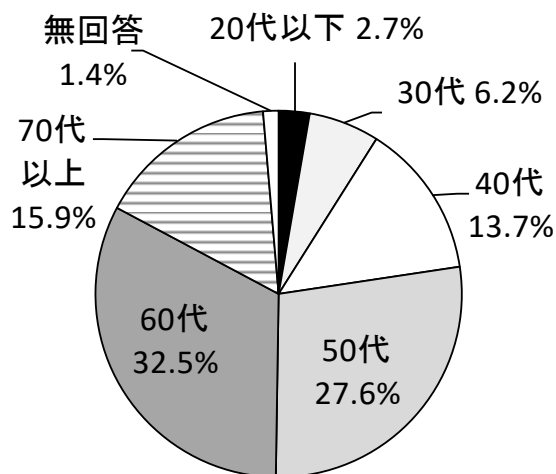
職種	平均勤続 (年)			平均経験 (年)			平均年齢 (歳)		
	2023	2024	2025	2023	2024	2025	2023	2024	2025
ハイタク	11.8	11.3	13.4	14.6	14.0	13.4	58.3	58.0	57.7
技 職	14.2	14.1	16.2	21.3	20.9	22.9	44.3	42.6	43.4
自 教	15.0	14.4	-	16.1	15.3	-	43.0	43.0	-
バ ス	13.2	11.1	9.6	19.5	17.1	17.0	57.5	56.2	53.8

2026春闘アンケートの集計結果を報告します（回答時期は2025年秋～冬）。職場要求の資料としてご活用ください（本部へお問い合わせいただければ集計の元データを提供できます）。

今回は15地方から2643枚の回答が集まりました。回答者の平均年齢は57.5歳となり、高齢化問題は依然として高止まりしています。

（図1・図2・図3）

図3 年齢構成（全体）



物価高騰を反映 半数以上が生活苦

図4 収入（年間）・賃金引き上げ要求について

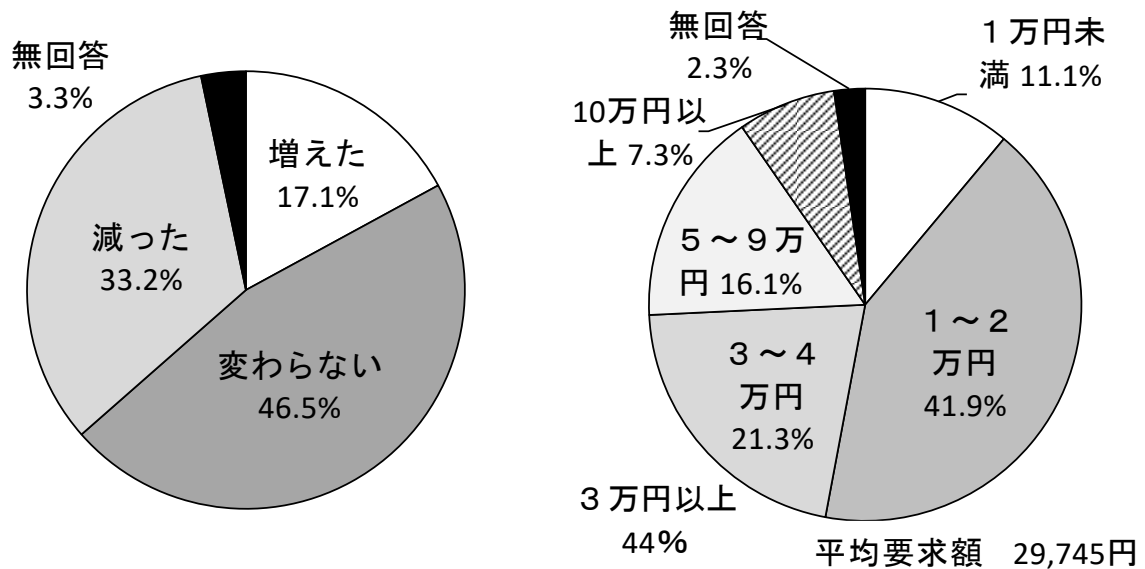
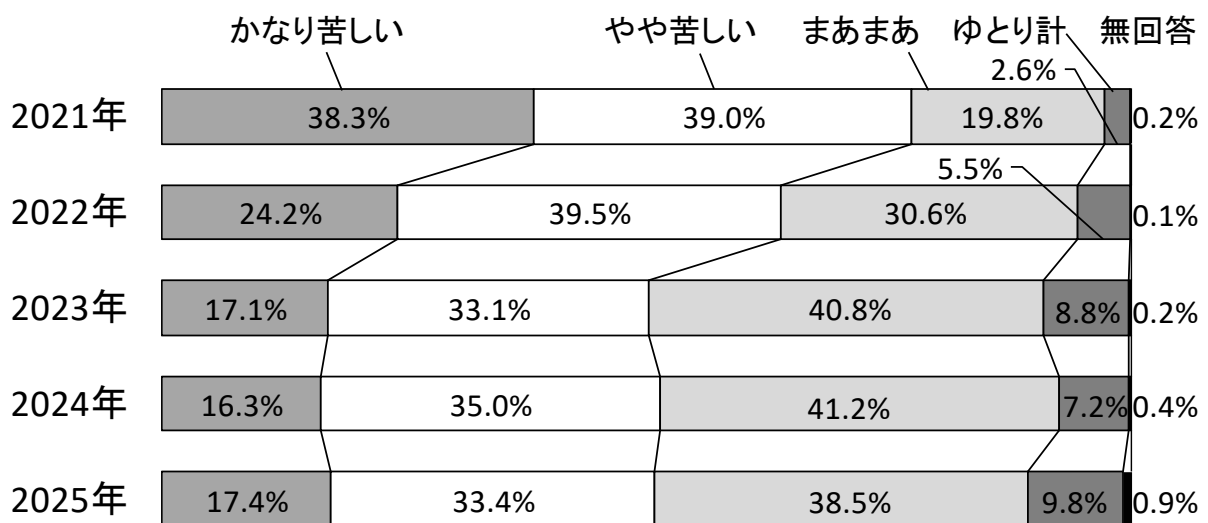


図5 「生活実感」の変化



収入については、物価高を受けて過去最高額の最低賃金引き上げとなったにもかかわらず、「変わらない」46.5%と「減った」33.2%という回答となりました。一方、生活実感では、「かなり苦しい」と「やや苦しい」をあわせ50.8%が苦しいと回答。2024年よりも減少したものの、半数以上が生活苦を抱えた結果となりました。

2026春闘の平均要求額は、29,745円でした。

(図4・図5)

ハイタク・バス 1～2 割「休息期間が9時間未満」

図 6－1 仕事で運転中の経験（タクシー乗務員）

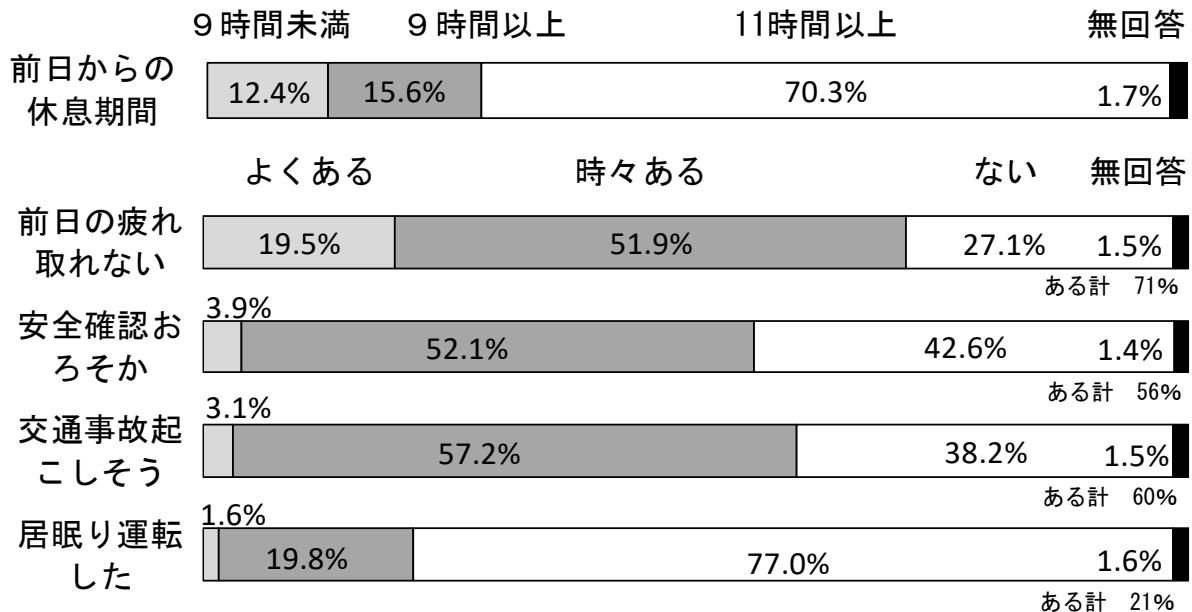
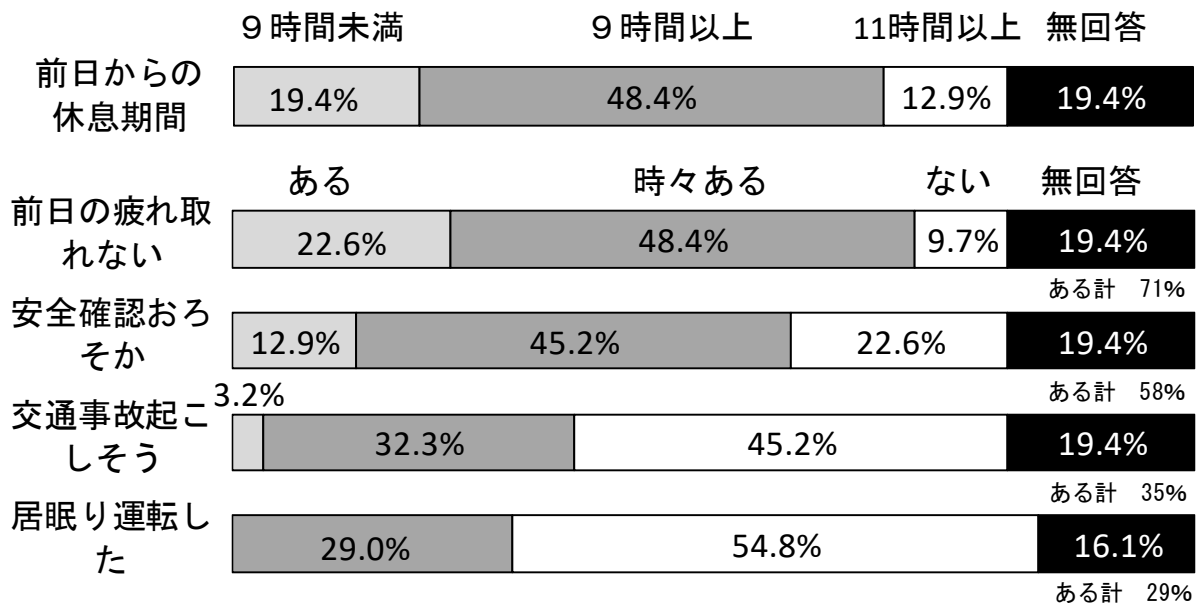


図 6－2 仕事で運転中の経験（バス乗務員）



ハイタクとバス乗務員へ仕事で運転中の経験を聞きました。

前日からの休息期間について、11時間以上はハイタク70.3%・バス12.9%、9時間以上はハイタク15.6%・バス48.4%、9時間未満はハイタク12.4%・バス19.4%となりました。長時間労働により、前日の疲れが取れなかったり、安全確認がおろそかになったり、危険運転をしそうになったという回答がハイタク・バスともに数多くありました。安全を確保するためにも、適切な長

時間労働の規制を強化しなくてはなりません。（図6－1、図6－2）

地域ごとの課題を議論し要求を練り上げる

図7 職場での不満（複数回答）

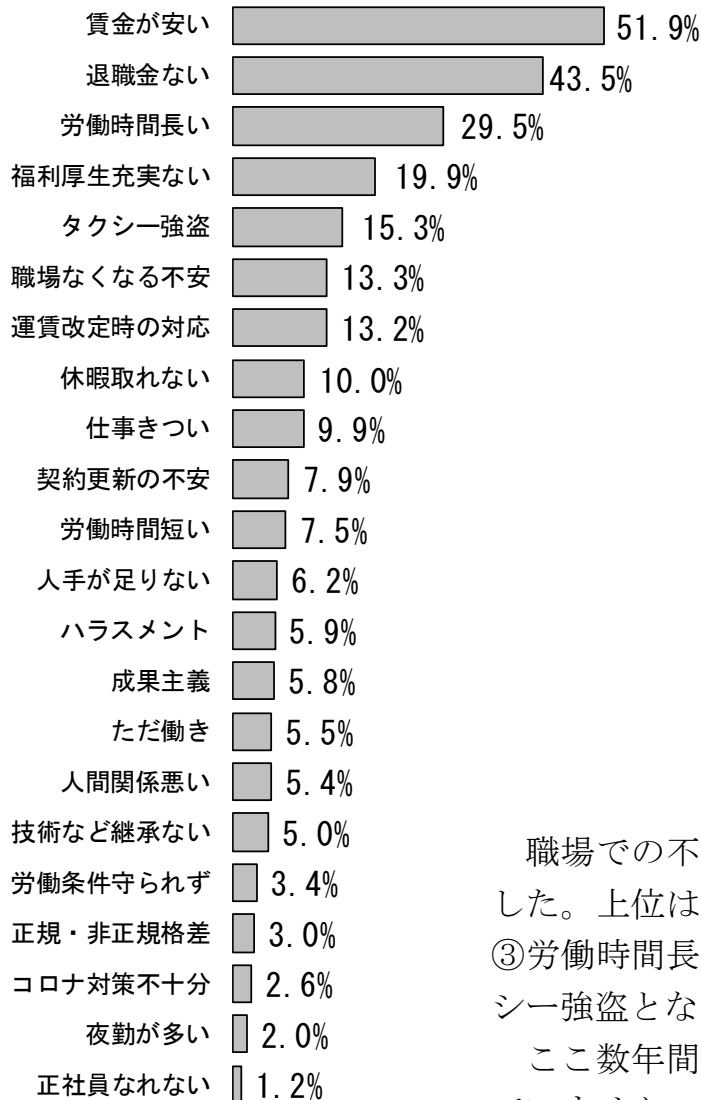
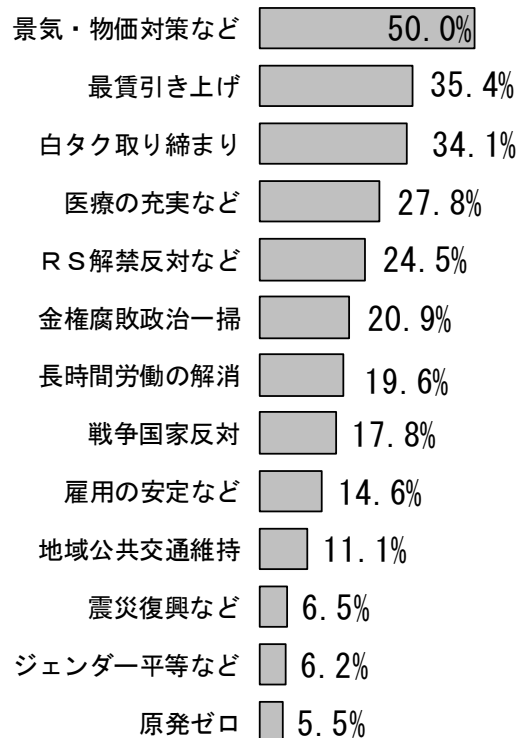


図8 政府に対する要求（複数回答）



職場での不満を複数回答で選択してもらいました。上位は、①賃金が安い、②退職金がない、③労働時間長い、④福利厚生充実ない、⑤タクシー強盗となりました。

ここ数年間、上位の顔ぶれはほとんど変化していません。恒常的に低賃金と長時間労働についての不満があり、今春闘でも要求の柱として改善していくべき課題です。（図7）

政府に対する要求の質問では、①景気・物価対策など、②最賃引き上げ、③白タク取り締まり、④医療の充実、⑤ライドシェア解禁反対が上位でした（こちらも複数回答）。（図8）

地方別のランキングでは、その地域ごとの特色が表れています。

それぞれの課題を議論し、春闘要求を練り上げていく必要があります。

（図9・図10）

図9 職場で不満に感じること(％、複数回答)

	賃金が 安い	退職金 ない	労働時間 長い	人手足り ない	労働時間 短い	福利厚生 充実ない	その他
ハイタク計	①52%	②44%	③29%				
技 職 計	②57%			①64%			③人間関係悪い 43%
バ ス 計	①61%	②45%	①61%	③32%			
ハイ タク	北海道	①65%	②36%			③29%	②労働条件守られず 36%
	秋 田		②50%	①75%	①75%		③人間関係/ハラスメント/ 成果主義 25%
	宮 城	①74%	②66%	③26%		③26%	
	福 島	①58%		②42%	②42%		③人間関係悪い 32%
	埼 玉	①69%		②41%		③36%	
	東京タク	②48%	①53%	③28%			
	東京ハイ		③40%	①87%		②56%	
	神奈川	①61%	③32%				②運賃改定時の対応 34%
	静 岡	①69%		③31%		③39%	
	愛 知	①74%		②51%			③仕事きつい 31%
	大 阪	①46%	②38%				③契約更新の不安 29%
	福 岡	③36%	①56%				②職場なくなる 40%
	長 崎	①60%		②40%		②50%	③休暇/仕事きつい 40%
	大 分	②39%	③25%		①46%		③休暇取れない 25%
	鹿児島	①57%	②29%				③ハラスメント/成果主義 21%
技職 東 京	②57%			①64%			③人間関係悪い 43%
バ ス	東 北	①100%		②50%		②50%	②仕事きつい/正社員 50%
	大 阪	②86%		①100%			③休暇/契約更新 29%
	福 岡	②52%	①67%	②52%	③43%		

図10 政府に対する要求で重視すべきと考えること(％、複数回答)

	景気・物 価対策	最賃 引き上げ	長時間労 働の解消	医療の充 実など	白タク取 り締まり	金権腐敗 政治一掃	その他
ハイタク計	①50%	②35%		③28%	②35%		
技 職 計	①64%	②57%	③36%				
バ ス 計	①71%	②58%	③48%				
ハイ タク	北海道	①52%	②47%				③地域公共交通維持 41%
	秋 田	①100%	③25%	③25%		②50%	
	宮 城	①66%	②43%			③40%	
	福 島	①68%	②42%		③37%		
	埼 玉	③26%		②35%			①戦争国家反対 41%
	東京タク	①51%		③35%		②42%	
	東京ハイ	①84%			③44%	②48%	
	神奈川	①52%	③36%			②40%	
	静 岡	①57%	②45%		③39%		
	愛 知	①74%	②61%	③39%			
	大 阪	①50%	②41%		③36%		
	福 岡	①44%			③32%		②震災復興など 36%
	長 崎	③30%	①70%			②50%	③戦争国家反対/雇用安定 30%
	大 分	②36%	③29%		①39%	①39%	
	鹿児島	①43%	③29%			③29%	②戦争国家反対 36%
技職 東 京	①64%	②57%	③36%				
バ ス	東 北	①100%		①100%			②ジェンダー/雇用安定 50%
	大 阪	②29%	②29%	①57%			①ジェンダー/RS解禁反対 57%
	福 岡	①81%	②71%	③38%			

専門用語を解説する教宣活動が重要

ここからは今年の独自設問を解説します。

図11 運賃改定時の対応について（タクシー乗務員のみ）

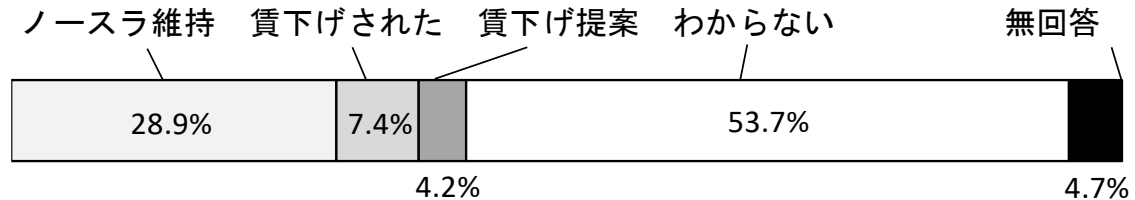
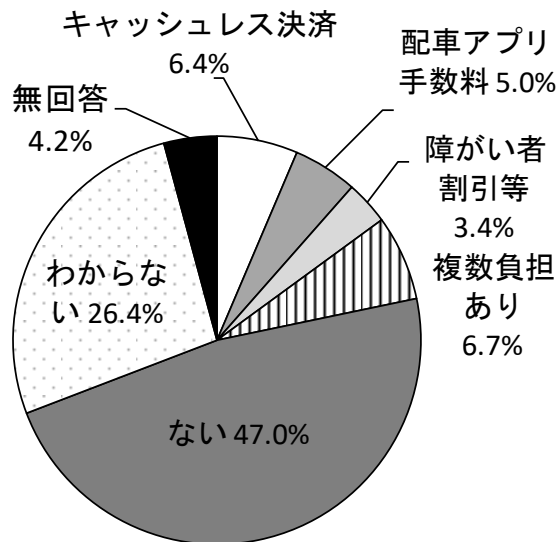
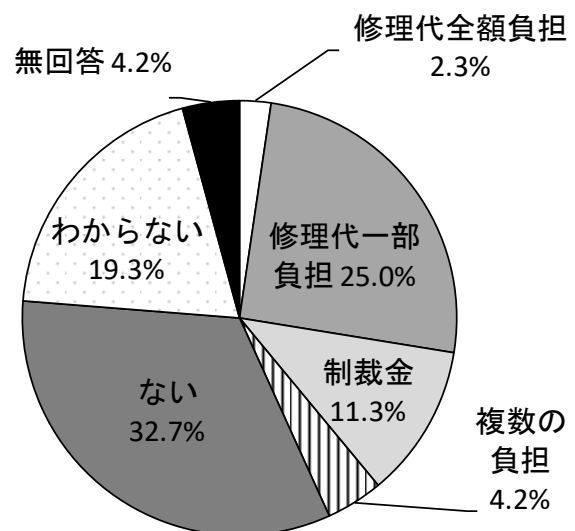


図12 乗務員負担について（タクシー乗務員のみ）

a. 各種手数料の負担



b. 交通事故を起こした際の修理代や制裁金の負担



タクシー乗務員へ運賃改定時の会社の対応について聞きました。

改定の趣旨に反する「賃下げされた」「賃下げ提案があった」との回答が11.6%。もっとも多いのは、「わからない」との回答で53.7%でした。

組合員の半数が、自分の賃金に直結する運賃改定時の動きを把握していないことになります。とくに新しく業界へ入ったばかりの乗務員はノースライドやスライド賃下げなどの用語をそもそも知らない場合もあるので、各地連・地本での教宣活動が重要となります。

乗務員負担についての設問では、「修理代一部負担」が25.0%、「制裁金負担」が11.4%、「複数の負担あり」が4.2%と、かなりの割合で各種手数料・事故時の修理代等をとられている結果が出ました。

不当な乗務員負担については、運賃改定時に撤廃させるように働きかけることが肝心です。各職場での団体交渉で改善させることが基本ですが、本部

も、国会議員を通じて省庁への要請交渉をおこない、会社への指導の強化を求めています。

(図11・図12)

RSで白タクと混合・營收低下・タクシー地位低下

ライドシェアについての実感を聞きました（複数回答）。

日本版ライドシェアについては、「白タクと混合」との回答が52.3%、「營收収入の低下」が50.1%、「タクシーの地位低下」が43.3%でした。

公共ライドシェアについては、「營收収入の低下」との回答が51.2%、「白タクと混合」が51.0%、「タクシーの地位低下」39.5%でした。

(図13・図14)

図13 日本版RSの実感(複数回答)

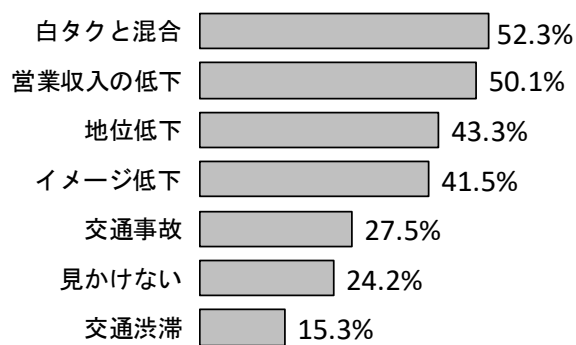


図14 公共RSの実感(複数回答)

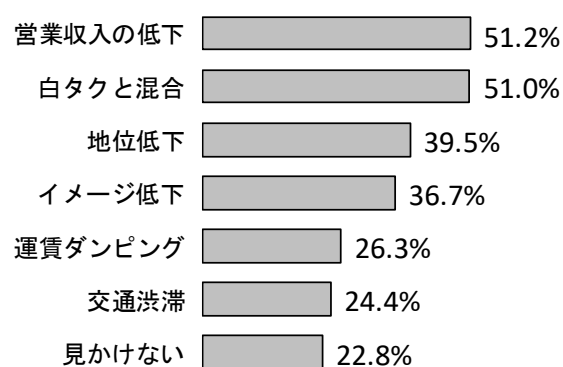


図15 自由回答

内容	実数
● 労働条件改善	32
うち「賃上げ」	(8)
うち「交通費・退職金支給」	(5)
うち「ナビの改善」	(3)
うち「アプリ配車の手数料の分配」	(3)
うち「休憩・駐車スペース拡大」	(3)
うち「パワハラ・カスハラ対策」	(2)
うち「乗務員負担の撤廃」	(2)
他、乗務員の生活向上など	(6)
● 違法タクシーの取り締まり強化	6
● ライドシェア解禁阻止の運動の促進	4
● その他	8
うち「街頭宣伝の拡大」	(1)
うち「労働時間を長くしてほしい」	(1)
うち「アンケート内容の不満」	(1)
うち「組合員を守る上部団体」	(2)
他、激励など	(3)

最後に、自由回答を紹介します。（図15）

全体では労働条件改善に関する内容が多く、賃上げできるように運動を強化してほしい、交通費や退職金が支給されるようにしてほしい、アプリ配車の手数料を運転者に分配してほしいといった要望が集まりました。また、運

転者用の休憩・駐車スペースを外に設けてほしい、カーナビを改善してほしい、パワハラ・カスハラ対策をしてほしいなどの福利厚生についての要望も上がりました。

白タクや緑ナンバーの違法営業車の取り締まり強化を求める意見や、自交総連に対して、ライドシェア解禁阻止運動の強化や街頭宣伝を拡大してほしい、組合員を守る上部団体であってほしいといった声が寄せられました。

以下、抜粋します。

- 自転車ナンバー付け、ナンバーがないためひき逃げが多い。
- 公用車、役員車の偽装請負なども問題だと思う。洗車中の車体をキズつけてしまうことなどの責任を押しつけられるなど、理不尽だと感じることも多々ある。
- 信号のない横断歩道歩行者に対する基準の明確化。今現在の道交法では自動車が一方的に悪玉に取り上げられているだけでしかない。
- タクシードライバーが高齢で少しずつ辞めていく一方、若手が入ってこなく、ほんとに人手不足だと感じています。もう少し賃金の引き上げもしてほしい。歩合がつけばそれなりに給与はありますが、田舎でやってる私に関しましては、歩合がつかなかった時の給与はほんとに生活が苦しくなります。
- 運転者に対してのパワハラが多い？
- 免許返納割引の乗務員負担は納得できません！
- 組合員を守れる上部団体であってほしいと思います。正しい意味で、正しい組合員を守ってください。大変なことですが、よろしくお願い申し上げます。
- アプリ配車のキャンセル料の要請と、乗務員への分配金。
- タクシー乗務員の生活向上について努力してください。
- 乗務についての不満として、休憩場所についての不満を感じています。乗務員の負担なしで違反にならずに駐車できる場所が少なく感じており、難しいとは思いますが、公式な休憩・駐車スペースの拡大、もしくはパーキングメーター料金の補助等の要求を可能であればしてほしいです。
- 違法白タクをつかまえてほしい！
- ナビがボロ、近くに来ると消える、無線配車後は安全な所にとめて確認が必要、ロスタイム、建物名がのってない、常に最新にしてほしい、お客さん目線では「空車」「回送」「迎車」が同系色でわかりづらい、GO会社の手数料取りすぎ。